

「311 ゼミナール」で活動してみませんか

宮城教育大学311いのちを守る教育研修機構



「311 ゼミナール」は、宮城教育大学「311 いのちを守る教育研修機構」の発足に伴い、2019年4月に立ち上がった学生主体の自主ゼミです。本年度も新しいメンバーを迎えて、活動を始めます。

宮教大生にとって東日本大震災とは何か。教員を目指すうえで、震災教訓にもう一步踏み込んで向き合いたいという皆さん、参加をお待ちしています。

■こんな人におすすめ

- ・一度も被災地に行ったことがなく、このままでいいのか、と感じる
- ・震災に関心はあるが、被災体験がなく、震災を語る資格がないと思っている
- ・災害対応は教員にとって最重要テーマなので、震災に深く向き合いたい
- ・地元で起きたあの日の体験、経験をもう一度多くの仲間と共有したい

■どんなことをするの

- ・だいたい週1回のペースで集まり、震災のことを語り合います
- ・深く考えたい、調べたいテーマを決めて、グループごとに学習します
(2019年度は①学校避難の検証②防災教育の現状③放射線教育の課題)
- ・学習の中では、現地視察、インタビューなどを行います
- ・取り組んだ成果をまとめて、発表します
(2019年度は2月10日にゼミ報告会、多くのメディアで報道されました)
- ・機構が企画する教職員対象の被災地視察研修などに無料参加できます

■その他

- ・6月にかけて、登録した学生で集まる予定です
(後日案内します、コロナ禍で繰り延べの可能性あり)
- ・週1回、定期的に集まれる日を決め、活動を開始します
(2019年度は前期が金曜日昼休み前後、後期が水曜日昼休み前後でした)
- ・毎回参加できなくても構いません、とりあえず登録だけでも結構です

→次へ

★登録したい人

下の QRコードを読み取り、必要事項を書き入れて、送信してください



問い合わせはメール、電話で下記へ
担当教員 武田真一(機構特任教授)

s-takeda@staff.miyakyo-u.ac.jp

022-214-3296(機構電話)